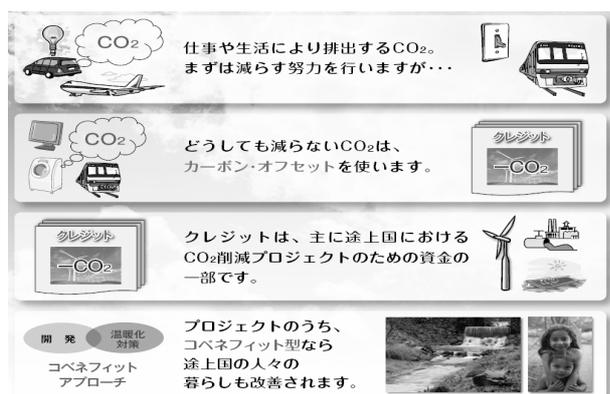


カーボン・オフセットに関する OECC の業務について

(社) 海外環境協力センター Kazuyoshi Sasaki
主任研究員 佐々木 和嘉

1. カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセットとは、温室効果ガスの排出について、[1]できるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、[2]どうしても排出される温室効果ガスについてその排出量を見積り、[3]排出量に見合った温室効果ガスの削減・吸収活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方である。削減・吸収活動への投資として、現在はクリーン開発メカニズム (CDM) から生じた CER を用いられることが多く、結果的に、当社団が長年蓄積してきた「京都メカニズム」や「コベネフィット・アプローチ」の知見が活かされている。



2. カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)の設立

カーボン・オフセットフォーラムは、平成 20 年 2 月に環境省より公表された「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)」中の「カーボン・オフセットに関するプラットフォームを創設」という記述に基づいて、平成 20 年 4 月 1 日に当社団内に事務局が設置され、カーボン・オフセットの取組を行う事業者等からの相談支援を中心に、情報収集・提供、普及啓発等を実施している。

4 月のキックオフ・ミーティングでは東京・京都の両会場を合わせ 300 名を超える方にお集まりいただいた他、普及啓発活動としての各種イベント(4 月:アースデイ、5 月:環境フェア in KOBE、6 月:エコライフ・フェア 2008)への出展を行っており、広報資料(パンフ・パネル類)やウェブページの作成も進めている。5 月 30 日と 8 月 5 日には課題別ワークショップを開催し、カーボン・オフセットに係る透明性

の確保並びに第三者認定及びラベリングについて検討を行った。

3. 今後のカーボン・オフセットフォーラム(J-COF)

環境省はカーボン・オフセットの取組を実施する市民、企業等からいただいた「同じ排出削減プロジェクトへの投資であれば、海外における排出削減プロジェクトだけでなく、国内における排出削減プロジェクトに投資をしたい」というニーズにこたえる形で、6 月 16 日に信頼性の高い国内クレジット(VER)認証・管理試行事業を実施することを公表した。J-COF は、国内クレジット(VER)に関する取組として、①さまざまな国内クレジット認証スキーム申請に対する認定、②国内クレジット(VER)基準の策定・提供、③国内クレジット(VER)活用のためのプラットフォームの提供を進める役割を担うことになった。(国内クレジット(VER)には、国内排出量取引の試行的実施のために利用できるものも含まれている。)

6 月 24 日には、地域の地球温暖化対策に熱心な自治体を中心に日本カーボンアクション・プラットフォーム(JCAP)が設立されており、J-COF は JCAP と有機的に連携して、カーボン・オフセットの取組やキャップ&トレード型の仕組みに関する情報交換、信頼性の高い国内クレジット(VER)の創出に関する情報共有や意見交換を行っていくことになっている。

今後の J-COF の予定としては、9 月 25 日に第 3 回課題別ワークショップを開催する他、国内クレジット(VER)認証・管理試行事業及び我が国におけるカーボン・オフセットの取組に係る第三者認定試行事業の実施に協力することになっている。12 月にはエコプロダクツ 2008 に出展し、カーボン・オフセットのさらなる普及に努めていきたいと考えている。

J-COF は、在野の立場でカーボン・オフセットや VER プロジェクトに取り組む事業者の支援はもちろんのこと、公的機関として、第三者的にこれらの取組が着実に地球温暖化対策となっていくように啓発していく必要があると考えている。こうした積み重ねが、低炭素社会を実現していくための礎となることを信じている。今後も引き続き、OECC 会員企業を始め、皆様からのご支援・ご指導を賜りたい。